

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	稲荷山医療福祉センター ほっぷ	公表日	R 8年 3月16日
------	-----------------	-----	------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
	1	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・現在は、児発管とリハスタッフで訪問できていますが、利用者が増えてくると職員が足りなくなることが想定されます。	・苦手な活動を中心に参観するなど訪問時間を短くしスタッフの負担を軽減する工夫を検討します。
業務改善	2	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	・機会はあるが当事者でないスタッフも多く、振り返りが十分であったかはわからない。沢山必要ないかもしれないが半年に1回あっていいかもしれない。	・今年度は11月に主任と振り返りの会を行いました。3月には全体でこの評価をもとに話し合いを行う予定です。来年度は、各担当から業務をしている感想や改善してほしい点を聞き取り、それをもとに主任達と話し合う場を設けます。
	3	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	4	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	5	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	・今のところ実施の予定はない。	
	6	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	・1年目のような訪問員全体で外部講師の研修を受ける機会を作りたいが、スタッフ全員が集まれる機会がなく実施できませんでした。その代わりに地域で行う研修会を積極的に宣伝し、参加できる職員を募りました。	・多忙なスタッフが負担なく研修に参加できるよう工夫する必要があります。引き続き外部の研修案内は周知しつつ、どのように研修の機会を設けたらよいか模索していきます。
	7	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5		・訪問先や保護者にアセスメント票を送付し、詳しく記載をお願いしています。必要に応じて訪問先に出向きアセスメントを実施することもあります。リハビリを受けている方はその様子も確認し支援計画を作成しています。	・引き続き丁寧なアセスメントや課題分析をした上で個別支援計画を作成します。
8	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・児発管が個別支援計画(案)を作成の上、関係職員と話し合いながら最終的な個別支援計画を作成しています。ご本人の状況やご家族の希望も共有するようにしています。	・引き続き関係職員と状況や課題を共有しながら、最善の個別支援計画を作成していきます。	
9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5		・訪問先の先生方に願いや支援に苦慮している点を教えてもらい、その意向を中心に個別支援計画を作成しています。	・先生方の願いは本人にとって有益なことが多いです。引き続き訪問先の意向を加味した個別支援計画を作成していきます。	
10	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・リハスタッフにも意見を求めてくれるため計画や目標、取り組みを念頭においての関わり、助言につながると思います。良い点だと思います。	・日ごろから療育に関わっているリハビリスタッフの見立ては重要です。引き続き計画作成時から関わるようにし、支援計画を共有していきます。	
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・インフォーマルが主になりがちだと思います。フォーマルなツールを実施する人がバラバラなため、情報を持っておく(事前に確認する)必要があると思います。	・支援を実施する前に、知能検査や社会生活適応尺度などのツールを使い評価する必要は感じています。しかし、実施スタッフの問題や金銭的な部分をどうするか課題があり、訪問のためだけに実施することは難しい状態です。当センター外来にかかっている場合は、フォーマルアセスメントがあることが多いので、それらの情報を把握の上支援に生かしていきます。
	12	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	13	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5			
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	1	・報告書がすぐ書ききれない事が多いです。(個人的に)検証できていないことがあるなど反省しました。	・引き続き報告書を記載し、支援の検証に役立てます。

	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	・児発管（MSW）の方は参加していますが、リハスタッフはあまり参加できていないと思います。現実的ではないかもしれませんが参加してもよいのでは？と思うことはあります。	・児発管（MSW）に加え、リハビリスタッフの参加の必要性を検討し必要時には参加します。
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・リハスタッフとしてはという意見です。地域との連携は全体として課題なのではと思います。	・引き続き、よりよい連携について検討していきます。
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	3		・研修参加については6の期にもあるように課題になっています。引き続き有効だと思われる研修案内をスタッフに周知していきたいです。専門機関からの助言は、現在は行っていませんが、今後訪問件数が増えてきて必要になってきたら、検討していきます。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5			
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
保護者等への説明等	25	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	26	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	1	・リハスタッフの役割や取り組みについての説明が不十分かも思いました。	・訪問先とミーティングするときは、リハビリスタッフの役割について事前に説明します。
	27	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	28	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5			
	29	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			
	30	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	31	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	3	・年に1回、事業所評価をフェイスブックに掲載しています。	・ホームページが新しくなったので、保育所等訪問についても掲載されました。定期的な通信を発行することは、現段階では難しいですが、今後検討していきます。
	32	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
訪問先施設への説明等	33	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	34	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5			
	35	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5			
	36	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5			
	37	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	38	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5			

非常時等の対応	39	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・訪問時において、緊急時の対応をあまり意識できていなかったと感じます。	各種マニュアルは稲荷山医療福祉センター全体の物と共通です。また、訪問時に緊急のことがあれば訪問先の指示のもと動く必要も生じます。センター全体の訓練が行われており、そこからイメージする必要があります。
	40	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		安全計画についても、稲荷山医療福祉センター全体で確認しています。
	41	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		保育所等訪問を行っている時のヒヤリハットについては、現在のところ報告はありません。そのようなことが起こったら、児童発達管理責任者に報告するよう、もう少し丁寧に周知します。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		虐待防止については、稲荷山医療福祉センター全体で研修をしています。昨年度はオンライン研修を受けました。
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	2		今の段階で身体拘束の必要な利用者はいません。